

陸前高田発

南部園芸研究室再建



東日本大震災の津波で建物が全壊した、県の農業研究センター「南部園芸研究室」の再建工事が完了し、復興開所しました。施設は、

実験室を備えた木造2階建ての本館とビニールハウスや管理棟などを備えています。研究室は、気仙地区での生産拡大が期待される最新の「イチゴ栽培システム」など育成方法の研究や普及の活動拠点となるもので、主にイチゴやトマトの栽培技術の研究に取り組み、地域の農業の再生を支援していきます。



(1/10 ニュースエコー)

陸前高田発

気持ち新たに成人式



東日本大震災で甚大な被害を受けた陸前高田市の成人式では、これからの復興を担う若者たちが津波の犠牲となった友人の遺影を手にして式に臨みました。陸前高田市では今年、249人が新成人となる予定でしたが、震災で12人が亡くなり237人での式となりました。新成人の代表は「この町で育ち、震災を経験し、多くを失った我々だからこそ、この町の将来を背負うことができると固く信じています」と誓いの言葉を述べました。晴れ着姿の新成人たちは、成人式をひとつの契機に被災した故郷への思いを新たに、自らも街の復興を担おうという思いを強くしていました。

(1/12 ニュース)

大船渡発

伝統の元服式



大船渡市赤崎町の地域の集まり、「佐野契約会」は江戸時代末期の嘉永4年から続いている伝統の元服式を行いました。15歳の若者

を地域の新たな力に迎え入れるもので、164回目の今年は中学3年の17人が臨みました。親孝行などを説いた「嘉永四年の定」が読み上げられると中学生たちは宣誓書に拇印を押し、契りの杯に受けたブドウジュースを飲み干しました。中学生たちは地域の復興に何ができるか、自らの将来について思いを巡らせていました。(1/13 ニュースエコー)

大槌発

漁業者育成体験講座

基幹産業である水産業の立て直しが復興の課題となっている大槌町が、新たな漁業者を育成しようと体験講座を開催し、3人(町内:1人、県外出身者:2人)が参加しました。3人は定置網漁やカキ、ホタテの収穫作業などの実習を行います。大槌町では今回の成果を見ながら、来年度は3か月間の長期実習を行う予定です。(1/14 ニュースエコー)



大槌発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいが FMの道又はるかさんが、年末に大槌町の津波犠牲者1名の身元が判明し、家族のもとに返された出来事を伝えてくれました。DNA鑑定などでわかったものですが、家族が行方不明になっている方たちは不安な毎日を過ごしているだけに、悲しい反面ホッとする気持ちもあるといいます。大槌町では依然431名が行方不明のままです。このほか、町の人口減少を食い止めようという第3回復興戦略についてや、今月12日に行われた成人式について伝えてくれました。(1/15)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122